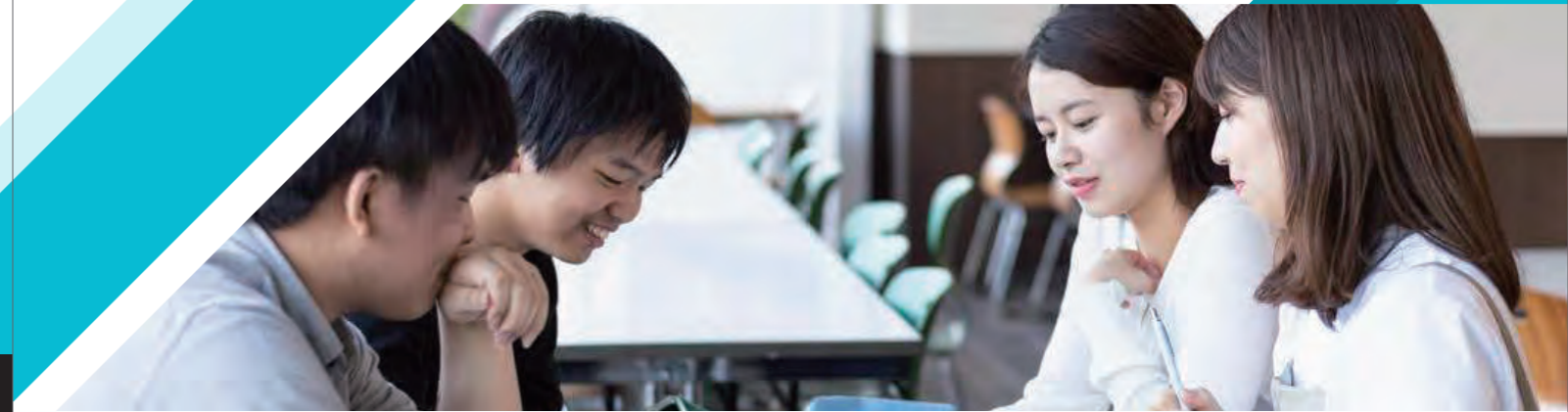




帝塚山学院大学では、学生自身がオリジナルのゲームを設計、アプリ完成するまでを導く。「最初から最後まで自分でやると力がつくんです」と喜家村教授は語る。完成品はオープンキャンパスで展示。卒業生はエンジニアとして就職するケースが多い。

喜家村 教授

大学卒業後、技術者として数年勤務した後、単身、英国Oxford大学 コンピュータ研究所に留学、プロセス代数の一つであるCSP理論の研究に従事。帰国後、奈良先端科学技術大学院大学にて博士後期課程修了。現在、帝塚山学院大学 人間科学部 情報メディア学科教授。来年度からは同学 リベラルアーツ学部 情報クリエイティブ専攻兼任予定。趣味はアーチェリー ->



Unityアカデミックアライアンスに参加しよう



Unity教育の分野をリードする高等教育機関を対象にしたコンソーシアム「Unityアカデミックアライアンス」。加盟教育機関には本アライアンス独自のUnity特典を付与しています。本アライアンスのメンバーとなった高等教育機関は、Unityの最新鋭教育のリーダーとして正式に認定され、様々な特典が付与されます。なお、高等教育機関以外でUnityのトレーニングコースを提供しているスクールまたは企業は、Unity認定トレーニングパートナーにご加入いただけます。

UnityアカデミックアライアンスおよびUnity認定トレーニングパートナーへのお申込み、また本件含めUnity教育プログラム全般のお問い合わせは、以下の宛先までお願いいたします。

<https://unity.com/ja/education/academic-alliance>

MAIL:EDU@unity3d.co.jp



ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン合同会社 〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA-SIX 8F

URL : <https://unity.com/ja> Mail : sales@unity3d.co.jp

Unity Case Study #02

Unity教育事例

CASE STUDY 帝塚山学院大学

Unityを活用して学生が「やりたいこと」を見つける





学生を楽しみながら未来を模索していく授業

大阪府南部にキャンパスを置く帝塚山学院大学。情報メディア学科は情報システム構築からネットワーク技術、映像・Web・音楽制作など、学生たちが幅広いスキルを身につけることを目指す学科だ。Unity認定アカデミック・アライアンス校として、Unity認定コースウェアを使った講義やUnity認定試験の学内実施環境の準備などを行っている。それらの取り組みを率先して行っているのが喜家村教授。Unityを積極的に授業に取り入れ、Unityを通して学生たちがテクノロジーの理解を深めるカリキュラム作りに取り組んでいる。

喜家村教授がUnityを授業に採用したのは5年前に遡る。導入の理由は、「学生たちにプログラムを嫌いになってほしくない」という思いからだ。喜家村教授はこれまでも様々なプログラミング言語やフレームワークを授業で採用してきたが、コーディングの難しさなどで“脱落”していく学生も多かったという。学生たちが楽しみながらプログラミングに親しむことができるツールを導入したい—そこで選ばれたのがUnityだった。

「私の専門はソフトウェア工学で、システム設計が専門です。情報メディア学科には、クリエイターになりたい学生もいればSEなどシステム系を目指す学生もいて、将来目指す像の幅が広い。その一方で、“まだ自分が何になりたいのかわからない”という学生もいます。クリエイターになりたいのであれば自作のコンテンツで就職に繋がりますが、エンジニアを目指す学生だとポートフォリオが就職に繋がらない。そこでUnityの資格を取ることで就職率を上げることができればとも考えています」

喜家村教授のゼミは11人を抱える。Unity上でゲームのステージなどを作り、学生たちが楽しみながらプログラミングに親しんでいくことで将来の選択の幅を広げている。「プログラミング教育は、まず興味を持つことが大事であり、その敷居の入り口を低くしてあげられるのは、ゲームや発想を具現化できるAR/VR/XRである」というのが喜家村先生の考えていることだ。

「大学生生活の4年間だけで、社会で通用するスキルを全て身につけることはできません。でも、大学生活では何を任せられても対応できる“基礎力”を身につけてほしい。卒業後に、社会人として働くようになって、プログラマであればシステムなどを作るようになりますが、プログラミングの基礎力は学生自身の力になる。だからこそ、プログラミングを嫌いになってほしくないんです」

またVRコンテンツを体験できるVRルームも備え、学生たちが先端のテクノロジーに触れることができる場も用意している。幅広い選択肢があるからこそ、学生たちが自分たちの夢に届くような能力を身につけさせてあげたい。学生たちからも慕われる喜家村教授の教育方針は、いつも学生の未来が第一に考えられている。

